

前回の編集後記（2023 年 1 月）で新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関して、「12 月 8 日現在、第 8 波の真最中です。水際対策の緩和が増加の 1 要因なのかもしれません」と記載致しました。その後、感染状況は落ち着き、ゴールデンウィーク明けの 5 月 8 日から、COVID-19 は感染症の 2 類相当から 5 類に引き下げられました。それに先立ち、3 月 13 日以降、マスクの着用は個人の主体的な選択を尊重し、個人の判断が基本となりました。世間一般ではマスクを外す場面も少しずつ増えているようですが、医療従事者は患者さんと接する機会も多いため、診察時などはマスクの着用を継続されている方が多いかと思います。私も個人的には、診察時にマスクをするようになってから、明らかに風邪などをひく機会が減った（なくなった）と感じています。感染症の分類が引き下げられても、ウイルス自体が変わる（斟酌する）訳ではないので、基本的な感染対策は（特に病院内では）続けていく必要があると思います。先日、居住区からコロナワクチン接種の案内（お知らせ）が来ました。個人的には 6 回目のワクチンを近日中に受ける予定であります。ウィズコロナ時代の幕開けなのかもしれません。

話は変わりますが、「乾癬におけるヤヌスキナーゼ（JAK）阻害内服薬（JAK1 阻害薬と TYK2 阻害薬）の使用ガイドランス」が日本皮膚科学会雑誌の 2023 年 1 月号に掲載されました。日本皮膚科学会乾癬分子標的薬安全性検討委員会で作成しました。乾癬に対する JAK 阻害内服薬は、2021 年に JAK1 阻害薬であるウパダシチニブが関節症性乾癬に適応拡大になり、2022 年には TYK2 阻害薬であるデュークラバシチニブが尋常性乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症に保険適用されました。本ガイドランスは、乾癬の診療に精通した皮膚科専門医が、JAK 阻害内服薬を適正に使用することを目的として作成されました。なお、添付文書や適正使用ガイドでは、ウパダシチニブは「JAK 阻害剤」、デュークラバシチニブは「TYK2 阻害剤」に分類されており、両薬剤には安全性などの点で違いがある可能性が考えられます。詳細は両薬剤の添付文書と適正使用ガイドを参照いただければ幸いです。また、両薬剤は今後、日本皮膚科学会の乾癬分子標的薬市販後調査（PMS）委員会で安全性の検討などを行っていく予定です。

（佐伯秀久）

— 顧 問 —

大原 國章 大塚 藤男

— 編集委員 —

土田 哲也 五十嵐敦之 相馬 良直 林 伸和 佐伯 秀久

「皮膚科の臨床」第 65 巻 第 7 号 6 月号

2023 年 6 月 1 日発行（毎月 1 回 1 日発行）

定価 3,190 円（本体 2,900 円＋税 10%）

年間購読料金

定価 48,950 円（本体 44,500 円＋税 10%）

〔年間 13 冊（臨時増刊号、増大号を含む）の誌代〕

〔年間予約購読者に限り送料無料〕

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村 直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

TEL 03(3811) 7165〔編集室直通〕

TEL 03(3811) 7184〔営業部直通〕

FAX 03(3813) 0288

ホームページ www.kanehara-shuppan.co.jp

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社 TEL 03(3637)0005

広告申込先 (株)文京メディカル TEL 03(3817)8036

- 本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

- ・**JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（TEL：03-5244-5088、FAX：03-5244-5089、E-mail：info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。